



中学生社会体験チャレンジ 「働く」ということ

「まだ将来のことなんて考えられないよ」。学生の皆さんは目の前のこと一生懸命で、こんな風に考えている人も多いかもしれません。あるいは、「大人になる」「働く」ということに、漠然とした不安を抱えている人もいるでしょう。かつて子どもだった皆さんは、どんな風に思つていましたか。

大人になれば社会の一員となつて、それぞれの役割を果たし働くようになります。あなたの周りの大人たちは、明るい表情で生き生きと働いてるでしょうか。

学生時代は、からの長い「働く大人」の生活に備えて、自分がどんな風に働いていきたいかを考えて

「大人になる」「働く」ということには、漠然とした不安を抱えている人もいるでしょう。かつて子どもだった皆さんは、どんな風に思つていましたか。

今、学生の皆さんは「働く」ということについて真剣に向き合ってみると、「将来なりたい自分」をつかむきっかけになるかもしれません。

大人になれば社会の一員となつて、それぞれの役割を果たし働くようになります。あなたの周りの大人たちは、明るい表情で生き生きと働いてるでしょうか。

学生時代は、からの長い「働く大人」の生活に備えて、自分がどんな風に働いていきたいかを考えて

「まだ将来のことなんていく時間です。

今回は「中学生社会体験チャレンジ事業」を取り上げます。中学2年生の皆さんが学校を離れ、大人たちが働く現場で、何を学び、何を感じたのか。その奮闘ぶりと、各校の先生方がどんな思いで生徒たちを送り出し、見守っているのかを紹介します。

将来の夢
2年組





緑丘保育所

保育所は、0～5歳児までの子どもがいました。

0歳の子どもは特に衛生面や危ないことをしていないかなど、気を使わないといけないことが多いと大変でした。しかし子どもたちと遊び、喜んでもらった時はうれしかったし、やりがいを感じることができました。



東中2年
宮嶋 美波さん



▲「お兄さん・お姉さん先生」として、小さな子と上手に接しました

東中学校 Higashi junior high school

パン屋

仕事を始める前は、袋詰めや接客なら簡単そうだなと思っていました。でも実際やってみると「固いパンから詰める」などのルールがあり、さらにお客様を待たせないよう笑顔で早くやらなくてはならない難しい仕事でした。私も将来、最高の接客ができる人になりたいと思いました。



東中2年
野口 紗耶さん



▲パンの袋詰めやレジ打ちなど、忙しく立ち回ります

仕事のやりがいや厳しさを感じて

今回の「社会体験チャレンジ事業」は、生徒が自らの将来や職業について考えるための貴重な体験になりました。体験を通じて、仕事のやりがいや厳しさを実感した生徒の声が多く聞かれました。中には将来の夢を見つけた生徒もいたようです。また、あいさつやマナーなどの基本的な社会人としてのスキルを身に付け、コミュニケーション能力がさらに向上したと感じています。

今回の事業についてご理解をいただき、快く受け入れていただいた各事業所や関係者の方々に、改めて深く感謝し、お礼申し上げます。



東中学校2学年主任
たがやなきゅうりゅうじゅ
高柳 隆寿先生



スーパーマーケット

体験では人と接することの楽しさ、毎日仕事をすることの大変さを学びました。

「接客の基本としてお客様とすれ違ったら、“いらっしゃいませ”と言ってね」と教わりました。さっそく声掛けしてみると、お客様も笑顔になっている気がして、すごく気持ちが良くてうれしかったです。



東中2年
鈴木 隆太さん



▲接客から商品の陳列、店内放送などいろいろな仕事があります

東消防署

職場体験を通して、人の命を守る大切さを知り、将来消防署での活動をしたいと思いました。消防士による訓練は簡単そうでとても難しいし、声も十分に出さなければいけないのでつづかったです。またこういう機会があれば全力でやっていきたいと思います。

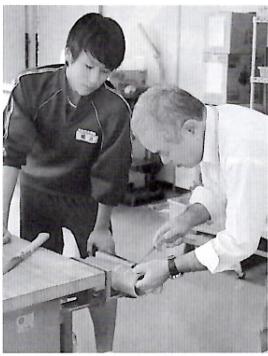


東中2年
佐藤 優さん



▲訓練は真剣そのもの。命を守る現場を体験できました

自然学習館



▲慣れない工具を使っての作業。丁寧な指導に耳を傾けます

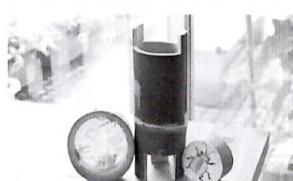
普段何気なく使っている公共施設でも、いざ自分が働いてみると、細かい所まで気を配っていることが分かりました。2日間で「社会に出たら必要になること」や「仕事をしていくのに役立つ大切なこと」などたくさん学ぶことができたので良かったです。とても貴重な体験をさせていただき、感謝しています。ここで学んだことを今後に生かしていきたいと思います。自然学習館の皆さんありがとうございました。



大石南中2年
細沼 元希さん



大石南中2年
永井 白陽里さん



▲自然学習館で開催する竹工の教室のため、見本を作るお手伝いをしました

とにかく緊張して向かいましたが、温かく受け入れてもらえて良かったです。竹を切る作業や、草取り、ごみ拾いなど、お客様に対するおもてなしの環境づくりを丁寧に行っていることや、あいさつなじしっかりやれていてすごいなと思いました。2日間学んだことをこれから的生活に生かしていきたいです。

大石南中学校

Oishi-minami junior high school

働くことの意義を考える

実際に職場を見て、働く体験ができる2日間は、主体的に進路を考えるチャンスだと思います。生徒にとっては、普段とは違うエネルギーを消費して、働く厳しさを実感できました。働くことの意義を知らずに社会に出て、ドロップアウトしてしまう若者が少なくない昨今、貴重な経験になったことでしょう。今回の体験は、地域の方々や事業所の方々のあたたかい対応に支えられて行うことができました。生徒たちには感謝の気持ちを忘れずに、働くことの意義を改めて考えるきっかけにしてもらいたいと思っています。



食品製造工場

ケーキ店

社長さんから、「活力朝礼」を開き、仕事の時間をきっちりと区別してきびきびと働く工夫をしていることや、あいさつの大切さなど今後に役立つ話をしていただきました。また、社員の皆さんのが丁寧に仕事を教えてくださり、すごくうれしかったです。

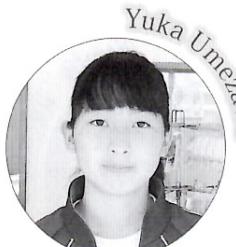
会社の皆さん、自信を与えてくださいって、ありがとうございました。



大石南中2年
大関 謙徳さん

ケーキ店

仕事は疲れるけれど、やりがいがあって楽しかったです。お客様から喜ばれたり応援されたりすると、うれしくなってもつと頑張ろうと思いました。この経験を将来役立てていきたいと思います。そして、体験で学んだ「あいさつをしっかりする」ことを、今から実践していきたいです。



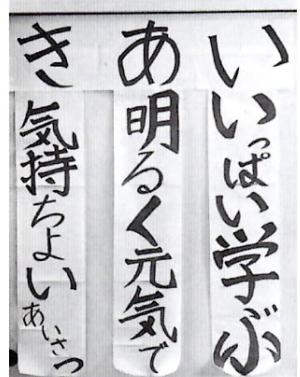
大石南中2年
梅澤 由佳さん



大石南中学校2学年主任
平田 美幸先生



▲クッキーの袋のリボン結び一つとっても、慣れない生徒たちには難しい作業。悪戦苦闘する姿が見られました



▲仕事の合間に貼るシールの添付の作業をしました。自主的に立てた「きあい」の目標通り、多くを学んだようです



書店

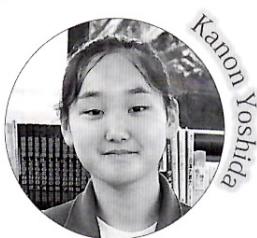
最初はすごく緊張して大きな声でいさつをすることが恥ずかしかったのですが、店員としての自覚を持つことで、しっかりとできるようになりました。いさつするとお客様が笑顔になってくれてうれしかったです。今回は、言われたことをやるのが精いっぱいだったので、将来仕事に就くときには、もっと積極的に動いていきたいです。



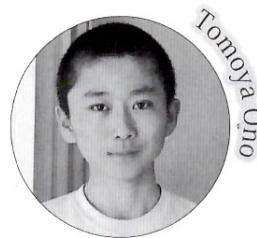
▲本を一つ一つチェックし、陳列や梱包などを行います

ビジネスホテル

職場体験がビジネスホテルに決まったとき、初めはどんなところだろうと思いました。打ち合わせで仕事内容は主に掃除だと聞き、最初は不安に思いました。しかし2日間の体験を終えると、仕事を終えた達成感や掃除が楽しいという気持ちが芽生えました。職場体験ができた良かったです。



南中2年
吉田 夏音さん



南中2年
大野 友也さん



▲隅々まできれいにして、次のお客様が気持ちよく使えるように準備をします

南中学校 Minami junior high school



南中学校2day
チャレンジ事業担当
高橋 洋先生

自分の将来を考える貴重な時間

職場体験に向け、4月下旬から約2カ月間、事前学習などに取り組んできました。日を重ねるにつれ、意欲的に取り組む姿や、「働く」ということを意識した学校生活を送っている姿を見て取ることができました。生徒は、「いさつ」「臨機応変な対応」「身だしなみ」などの大切さを、肌で実感し学ぶことができたようです。6年後、生徒は20歳を迎え、ゆくゆくは職業に就き、一社会人として働くことになります。今回の職場体験は、自分の将来を考える貴重な時間をいただく機会となりました。ご協力いただいた事業所の皆さんに感謝するとともに、今後も生徒を地域で温かく見守っていただくことを願っています。



農園(野菜の生産・出荷)

将来は大工になりたいという夢があるのでは、それ以外の仕事にあまり興味を持てずにいました。しかし作業する現場で機械を見せていただいて、「どのように使うんだろう」と少し興味が湧いてきました。実際に仕事をしてみると、機械類を使うよりも手作業で仕事を進めていることに驚きました。

この体験を通して、いろいろな仕事に興味が持つことができました。これからはもっと自分の視野を広げていきたいと思います。



南中2年
福永 稔希さん



▲広い作業場所。大人に混ざり、懸命に仕事をする姿が見られました



▲山盛りいっぱいの枝豆を袋詰めにして、普段スーパーなどで見慣れた姿に加工していきます



南中2年
堀口 大輔さん

職場体験では多くのことを学びましたが、特に働くことの大変さを実感しました。枝豆の重さを均一にして機械へ乗せる計量作業や、袋詰めの枝豆を箱詰めにする作業は、簡単そうに見えるけれど、慣れるまでとても大変でした。でも仕事を終えた時には「やり遂げた」という達成感がありました。今回体験して学んだことを、将来に生かしていきたいです。